

平成20年度会務・会計報告



平成20年度幹事長報告

平成20年度日本弁理士クラブ
幹事長 栞原 史生

<はじめに>

平成20年度の日弁活動は平成21年1月16日に開催しました総会および新年会で実質的に幕を閉じました。ちょうど一年前の本誌でご挨拶させていただいたときは、弁理士数が急増している現状に反して日弁などの会派所属弁理士数が伸び悩んでいる状況を何とか打破したいと言うような提言もさせていただいたのですが、終わってみると結局のところほとんど手つかずの状態であり、大変心苦しい限りです。

ともあれ、何とか一年間の職務を全うすることができたのも、日弁内各派から送り込んでいただいた有能な副幹事長・幹事・監査役等役員の先生方、政策委員会・協議（選対）委員会・研修委員会・規約委員会・会報委員会・HP委員会の各委員長・委員の先生方、日弁内各派の幹事長をはじめとするすべての先生方のご尽力・ご協力の賜物と改めて深く感謝申し上げる次第です。とりわけ会長選挙については日弁所属の先生方はもちろんのこと、他会派の幹事長はじめ多くの方々にも絶大なるお力添えをいただき日弁から筒井大和会長を送り込むことができましたことは、皆様方既にご承知の通りです。お世話になったの方々にはこの紙面をお借りして厚く御礼申し上げたいと思います。

<会長選挙について>

平成20年度を振り返ってみると会長選挙への対応で終始してしまったというのが率直な印象です。初代2年制会長になられた中島淳氏の次の会長を日弁から送り込みたいという意向のもと、まずは日弁からの擁立候補について協議委員会に検討をお願いし

ました。この件については諸般の事情で比較的早期に結論が得られ、その後、他会派から対立候補が出るような表立った動きも見えず（実は「噂」は無いことも無かったのですが…）、これはすんなり行けるのかもしれないと安心しておりましたところ、強烈な爆弾に見舞われました（笑）。その後の経緯および結果は皆さんご承知の通りと思いますが、詳しくは本誌の協議（選対）委員会報告をご参照いただきたいと存じます。

結果につきましては皆様からいろいろな評価や感想をいただきました。良く頑張ったというお褒めの言葉も多数頂戴しましたが、最大派閥の日弁なのだからもっと圧勝できたはずだという声も聞きましたし、これでは実質負けだとのお叱りも受けました。幹事長の立場としてはいずれのご意見も素直に拝聴させていただきますが、一つだけ私の実感としてお伝えしたいことは、今回の勝利（敢えてこの言葉を使わせていただきました）は候補者の所属会派である無名会・稲門弁理士クラブの一枚岩となった頑張りが無ければ絶対になし得なかったであろうことです。もちろん、候補者ご本人もご尽力されましたし、当該会派以外の日弁所属会派にも献身的にご協力いただきましたし、日弁外の弁理士連合クラブ・西日本弁理士クラブ・東海協議会の各組織及び所属の先生方からも望外のご支援・ご協力をいただきましたが、それも当該会派が若手から長老まで終始一貫一枚岩にまとまっていたからこそだと強く思うのです。その熱意・誠意が他会派にも伝わったのだと感じています。その意味で、当該会派から委員長として活躍された亀川義示選対委員長、当該会派である無名会の香原修也幹事長、選対ワーキングチームを先導した鈴木一永リーダー、協力会派である稲門弁理士クラブの小西恵幹事長（別の意味でも大変ご苦労様でした）等の役職に就かれたの方々をはじめとして、お名前を挙げればキリがありませんが皆さん全員の力で掴み取った勝利だと思います。失礼

な言い方ですが日弁内のいわゆる大ムラではない会派が今回の結果を残したことはきわめて大きな実績であり、日弁が立ち向かうであろう今後の選挙戦においても大きな指針を示すものと信じています。

<最後に>

私の幹事長としての任期は終わり、今年度は清水善廣幹事長の下で日弁が運営されています。個人的なことになりますが清水幹事長とは30年来のお付き合いをさせていただいており、昼夜を問わずにご活躍される大変優秀な方であることを熟知しておりますので、どんな苦難に襲われても24時間不眠不休態勢で対応していただけるものと何も心配しておりません。私は今年度は公務・会務から少し離れて休ませていただいておりますが、日弁の一会員として微力ながらお役に立てれば幸いです。今後ともよろしくお付き合いくださいますようお願い申し上げます。一年間ありがとうございました。



平成20年度 日弁政策委員会報告

平成20年度日本弁理士クラブ
政策委員長 清水 善廣

1. 委員会構成

平成20年度政策委員会は、次の委員会構成で5月30日に活動を開始した。

委員長	清水 善廣（春秋）
副委員長	岡部 譲（PA）
同	奥山 尚一（春秋）
同	樺澤 聡（南甲）
同	須藤 雄一（無名）
同	杉村 純子（稲門）
委員	濱中 淳宏（PA）
同	久門 保子（春秋）
同	瀧野 文雄（南甲）
同	川崎 研二（南甲）
同	高松 俊雄（無名）
同	榎本 英俊（稲門）

2. 諮問事項

平成20年度政策委員会は次の審問事項をもとに委員会活動を行った。

- ①日本弁理士会執行部に対する政策面からのサポート
- ②日本弁理士会執行部からの検討依頼事項に対する検討・意見表明
- ③日本弁理士クラブとしての自主的な意見具申
- ④弁理士会員急増に関連する諸問題についての現状分析および解決策の検討

弁理士が急増しているにも拘わらず近年合格者の会派組織率が大幅に低下しているため会派としての機能や存在意義が危ぶまれる事態になってきている。日弁研修委員会の活動や日弁内各会派における会員普及活動とも連携を図りつつ、日弁会員を増やす方策を検討していただきたい。

近年合格者の会派組織率低下の問題は、日本弁理士会役員選挙（特に副会長選挙）における日弁としての対応のあり方にも影響を及ぼしている。この点について鋭意検討していただきたい。必要であれば

役員制度の改正の必要性や方向性についても検討していただきたい。

3. 委員会審議事項

第1回委員会（5月30日）

桑原幹事長より諮問事項の説明を受け、質疑応答を通し、諮問の趣旨を理解し、各委員の認識の統一を図った。

特許庁「イノベーションと知財政策に関する研究会」提言（案）及び報告書（案）に対する意見の取り纏めを求められ、これについて意見交換を行い、6月9日付けで日本弁理士会の執行部（以下「執行部」）に意見書を提出した。

第2回委員会（6月30日）

真田副会長から「弁理士ナビ」における「継続研修受講履歴」に関しての意見表明の要請を受け、その場で説明を受け、妥当な内容であることを確認し、当日付けでその旨、意見表明した。

また、委員会終了後、執行部より、「商標権存続期間更新登録手続きの行政書士への開放」に対する意見表明を求められ、メール会議を通して意見交換を行い、規制改革会議に対する反対意見を取り纏め執行部に提出した。

第3回委員会（7月18日）

幹事会との合同開催とし、プライベートクルーザーで東京湾クルージングを楽しみながらの納涼会で、懇談を通し、幹事会との意思統一を深めた。その際、弁理士会役員選挙における郵便投票制度が真に会務を託せる役員を選出できる制度として機能しているのだろうかという意見が出され、今後、議論を深めることとした。

弁理士連合クラブとの合同政策検討会（9月11日）

日本弁理士会、弁理士が抱える問題を中心に、今後数年間の日本弁理士会がとるべき政策について広く意見交換を行い、日弁としての政策立案の参考とした。今後も、他会派との合同政策検討会の開催は

有意義と思われる。

第4回委員会（9月24日）

先に行われた弁理士連合クラブとの合同政策検討会での討議を踏まえ、今後数年間の日本弁理士会が目指すべき政策について討議し、日弁としての政策を更に深めた。

また、弁理士業務の将来展望ワーキンググループによる「中間報告書」についての意見表明を求められ、これについて意見交換を行い、9月30日付けで執行部に意見書を提出した。弁理士業務の将来を展望する上で、「中間報告書」に触れられているようなコア業務についての価格破壊は何としてもくいとめる必要があるものと思われる。

第5回委員会（10月24日）

郵便投票制度を中心に役員選挙制度を議論した。

第6回（11月21日）

役員選挙制度、日弁メルマガ発行に加え、日本弁理士会の借室問題について議論し、借室問題については、執行部に意見を表明した。

第7回（12月19日）

下記の答申書①、②のたたき台をまとめ、その後のメール会議で答申書をまとめ1月31日付けで桑原幹事長に提出した。

4. 答申書

①日本弁理士会役員選挙制度についての改革の提案
候補者の公開討論の制度化、各ブロックごとの開票制度の導入、直接投票を主に郵便投票を従とする投票制度の改革をメインとした答申書をまとめた。更に、検討を継続し、役員制度の改革時に実現されることを期待する。

② 日弁メルマガの発行企画

無党派層の増加に対応し、会員勧誘、或いは、日弁シンパの増員手段として、日弁メルマガの発行を企画した答申書をまとめた。平成21年度に発行が実現することを期待する。



選挙対策委員会 (協議委員会) 報告

委員長 亀川 義示

1. 開催回数

協議委員会（拡大を含む）	11回
選挙対策委員会（拡大・WGを含む）	8回

2. 委員会の構成

委員長	亀川 義示（無名）
（但し、1～3回の協議委員長 幸田全弘（南甲））	
副委員長	小池 寛治（PA）
同	杉本ゆみ子（春秋）
同	河野 哲（南甲）
同	飯塚 義仁（稲門）
同	吉岡 宏嗣（無名）
委員	石渡 英房 濱中 淳宏（PA）
	小山 輝晃 大澤 豊（春秋）
	津田 理 河野 生吾（南甲）
	貝塚 亮平（稲門）
	富崎 元成 須田 元也
	米山 尚志（無名）
選対WG	神林恵美子（PA）
	鷺 健士（春秋）
	河野 哲（南甲）
	飯塚 義仁（稲門）
	鈴木 一永 村上 晃一（無名）

3. 審議結果

① 会長候補者として、下記の会員の推薦を決定する。

8000 筒井 大和（無名）

② 副会長候補者として、下記の会員の推薦を決定する。

8677 西島 孝喜（春秋）

8739 水野 勝文（無名）

9671 本多 一郎（PA）

10173 井上 春季（南甲）

③ 監事候補者として、下記の会員の推薦を決定する。

8023 石原 詔二（無名）

8289 西山 雅也（春秋）

9433 山田 正紀（PA）

④ 関東選挙区常議員候補者として、下記の会員の推薦を決定する。

9073 井滝 裕敬（PA）

9289 大西 正悟（PA）

10035 江藤 聡明（無名）

10465 井上 正（春秋）

10753 磯貝 克臣（春秋）

10849 小塚 敏紀（春秋）

11054 光野 文子（春秋）

11308 宮永 榮（南甲）

11463 中野 寛也（稲門）

11472 須藤 浩（南甲）

11872 中野 圭二（PA）

12096 今井 貴子（南甲）

12427 深澤 拓司（PA）

4. 選挙の結果

当選人確定 平成20年11月11日

① 会長選挙 投票当選

② 副会長選挙 無投票当選

③ 監事選挙 無投票当選

④ 常議員選挙 無投票当選

5. 当選祝賀会

平成20年12月11日

東海大学校友会館 阿蘇の間

6. 補足説明

本年度は、日弁より会長を出すべく、推薦者の選定作業に入った。会長予定者としての2名の立候補者があったが、内1名の立候補辞退があり、最終的に筒井大和会員を会長候補者として、推薦することに決した。

副会長選挙については、種々議論があったが、日弁内及び他クラブを含め全体として選挙を回避する

意向があり、最終的に推薦者全員が無投票にて当選を果たした。

常議員選挙については、関東選挙区において、立候補者数が届出時点において定員を1名超過した。常議員選挙についても、日弁内及び他クラブを含め全体として選挙を回避する意向が強かった。そこで、日弁より1名の候補者が立候補を辞退し、最終的に上記推薦者の当選が無投票にて決まった。

会長選挙については、当初、無風状態に推移し、無投票で当選が決まるような状況に見えたが、直前になってもう1名の立候補者があり、選挙に突入することとなった。

選挙戦に入って、急遽、日弁内に選対WGを作ると共に、日弁内各派の運動の把握に努めて、積極的な選挙活動を行った。

日弁推薦候補者については、弁理士連合クラブ(弁理士クラブ、弁理士同友会)、西日本弁理士クラブ、東海協議会の推薦を頂いていたので、更なる協力を頂くべく活動した。

対立候補者の知名度が高いこともあって、選挙戦は熾烈な戦いとなり、予断を許さない状況であったが、投票の結果、

投票総数	5394票
筒井大和候補	3247票
丸島儀一候補	2094票
無効票	6票
白票	47票

となり、60%を超える支持を得て、日弁の推薦した筒井大和候補の当選が決まった。

会長選挙は、近年登録した弁理士が急激に増加していること、対立候補者の知名度が高いこと、郵便投票であること等が相俟って、非常に予測を立て難い状況であったが、日弁各会派の活発なる活動及び弁理士連合クラブ(弁理士クラブ、弁理士同友会)、西日本弁理士クラブ、東海協議会の強力なご支援を頂いて所期の目的を果たすことができた。

本年度の選挙において、当選に向けて大変なご努力を頂いた日弁幹事長を始め各位に対し改めてお礼申上げる次第である。



研修委員会報告

委員長 今井 貴子

平成20年度研修委員会につきまして、以下の通りご報告致します。

1. 開催回数

研修委員会	1回
研修会	9回

2. 委員会の構成

委員長	今井 貴子 (南甲)
副委員長	小川 雅也 (南甲)
	市原 政喜 (P A)
	鈴木 博子 (春秋)
委員	服部 秀一 (南甲)
	登山 桂子 (P A)
	渡邊 伸一 (P A)
	小金澤有希 (春秋)
	小暮 君平 (春秋)
	齋藤 康 (無名)
	竹山 尚治 (無名)
	岩田 啓 (稲門)

3. 研修内容

(1) 旅行会における研修会

日時：6月21日

会場：伊豆修善寺温泉「桂川」

内容：第一部「最近の特許法の改正とトピックス」
第二部「新商標(音、色、位置、匂い、動き)～欧米の事例と我が国商標法改正の動向」

講師：第一部 小西 恵 先生

第二部 青木 博通 先生

(2) 特定侵害訴訟代理業務試験対策研修

特定侵害訴訟代理業務試験対策研修として、以下

の2つの研修会を行いました。

会報委員会報告

① 過去問解析講座

日時：7月3日、7月9日、7月15日、7月23日、
7月29日

いずれも18：30～20：30まで

会場：日本弁理士会館

講師：弁護士 笹本 撰 先生

受講者：約60名

内容：

第1回 H15年度過去問解析講座

第2回 H16年度過去問解析講座

第3回 H17年度過去問解析講座

第4回 H18年度過去問解析講座

第5回 H19年度過去問解析講座

② 模擬試験

日時：9月4日、9月10日、10月2日

いずれも18：00～21：00まで

会場：日本弁理士会館

講師：弁護士 弓削田 博 先生

受講者：約100名

内容：

第1回 特許法関連模擬試験

第2回 商標法・不正競争防止法関連模擬試験

第3回 小問模擬試験、講評、解説

以上

委員長 横山 照夫

平成20年度会報委員会につきまして、次の通りご報告致します。

1. 委員会の構成

委員長 横山 照夫（無名）

副委員長 有原 幸一（春秋）

委員 中隈 誠一（P A）

田中 勲（P A）

深川 英里（春秋）

須藤 浩（南甲）

井手 浩（無名）

細田 浩一（稲門）

倉持 誠（稲門）

担当副幹事 中野 寛也（稲門）

2. 活動内容

(1) 会報「日弁」の発行

発行部数：2500部

内訳 P A：780部

春秋：800部

南甲：430部

無名：290部

稲門：200部

発送：11月10日に各会派に発送

(2) ホームページ委員会への情報提供

12月3日にHP委員会委員長に送付

3. 会合、その他

(1) 会合

6月9日に開催。

その後は、電子メールを用いて作業を進めた。

(2) その他

前年度は、日弁60周年記念特集号であったが、今年度は平常の会誌に戻った。このため、会員便りを前年度の各会派につき2件から各会派につき4件に増やした。 以上





規約委員会報告

委員長 越 智 隆 夫



ホームページ委員会報告

委員長 小 川 嘉 英

1. 委員会の構成

委員長 越智 隆夫 (P A)
 副委員長 小宮 良雄 (春秋)
 委員 丸山 幸雄 (南甲)
 反町 洋 (春秋)
 西 良久 (無名)
 村上 友一 (無名)
 林 秀男 (稲門)
 松井 孝夫 (P A)

2. 会合及び審議内容

第1回

開催日時：平成20年6月9日(月)

午後6時～8時

場 所：弁理士会館地下会議室

議 事：(1)「日本弁理士会関東支部の役員及び委員等を当クラブから推薦するに際し適用すべき基準の検討及び制定」について検討を行った。
 (2)「日本弁理士会関東支部役員推薦基準」並びに「日本弁理士会関東支部委員等推薦基準」を策定し、当クラブの規則として制定すべきことを答申した。

以上

平成20年度のホームページ委員会の構成及び審議内容等について、次の通りご報告いたします。

(1) 委員の構成

委員長 小川 嘉英 (南甲)
 副委員長 高城 貞晶 (春秋)
 委員 西岡 邦昭 (P A)
 河野 生吾 (南甲)
 山田 勉 (無名)
 貝塚 亮平 (稲門)

(2) 会合及び審議内容

第1回

開催日時：平成20年6月9日 午後6時～7時

場所：日本弁理士会地下1階第7、8会議室

議事：1. 幹事長挨拶、出席者紹介、事業計画・諮問事項等の説明
 2. HP委員会への諮問事項
 ・ホームページの維持・管理

(3) ホームページ委員会の活動内容

- ・日本弁理士クラブ・幹事長挨拶の掲載
- ・日本弁理士会定時役員選挙における立候補者の広報活動
- ・日本弁理士クラブで主催する研修会等の案内掲載 (3コンテンツ)
- ・各会派で主催する研修会等の案内掲載 (16コンテンツ)
- ・日弁会報 (第32号) の掲載
- ・その他、日弁HPのメンテナンス (随時)

以上

平成20年度会合行事記録

平成20年度副幹事長 蔵 田 昌 俊

月	総会・例会	幹事会	相談役会	委員会	その他
平成20年 2月	2/26 第1回例会	2/26 第1回幹事会 (正副)			
3月		3/26 第2回幹事会 (拡大)			3/14 東海協議会 現役員慰労・ 新役員激励会 3/14 西日本弁理士 クラブ 現役員慰労・ 新役員激励会
4月	4/24 第1回総会	4/24 第3回幹事会			
5月	5/16 第2回例会	5/21 第4回幹事会	5/15 第1回相談役会	5/22 第1回協議委員会 5/30 第1回政策委員会	
6月	6/21, 22 旅行会 (伊豆修善寺温泉) 6/22 ゴルフ大会	6/18 第5回幹事会		6/ 9 第1回研修委員会 6/ 9 第1回規約委員会 6/ 9 第1回会報委員会 6/ 9 第1回HP委員会 6/16 第2回協議委員会 6/21 旅行会での研修会 6/25 第3回協議委員会 6/30 第2回政策委員会	
7月		7/18 第6回幹事会 (政策委員会との合同納 涼会)		7/ 3～ 特定侵害訴訟代 理業務試験研修 (計5回) 7/15 第4回協議委員会 7/18 第3回政策委員会 7/25 第5回協議委員会 7/29 第2回研修委員会	
8月	8/25 第3回例会		8/5 第2回相談役会		
9月		9/17 第7回幹事会		9/ 2 第6回協議委員会 9/ 4～ 特定侵害訴訟代 理業務試験模試 (計3回) 9/24 第4回政策委員会 9/24 第7回協議委員会	9/13, 14 弁理士連 合クラブ 旅行会
10月		10/23 第8回幹事会 (相談役会との合同開催)	10/23 第3回相談役会	10/ 2 第3回研修委員会 10/ 3 第1回選対委員会 10/ 6 第2回選対委員会 10/22 第3回選対委員会 10/24 第5回政策委員会	
11月		11/27 第9回幹事会		11/21 第6回政策委員会	11/26 弁理士連合 クラブ 役員選挙当 選祝賀会
12月	12/11 役員選挙 当選祝賀会 12/16 ボーリング 大会	12/3 第10回幹事会 (政策委員会との合同忘 年会)		12/3 第7回政策委員会	
平成21年 1月	1/16 第2回総会 1/16 新年会 1/24 テニス大会				

平成20年度総会 承認事項

平成20年度副幹事長 萩原康司

第1回総会（平成20年4月24日）

- (1) 平成20年度事業計画の承認を求める件
平成20年度事業計画につき、賛成多数により承認。
- (2) 平成19年度決算報告の承認を求める件
平成19年度決算報告につき、賛成多数により承認。
- (3) 平成20年度予算の承認を求める件
平成20年度予算につき、賛成多数により承認。
- (4) 平成20年度日弁役員・委員の承認を求める件
平成20年度日弁役員・委員につき、賛成多数により承認。

第2回総会（平成21年1月16日）

- (1) 平成21年度日本弁理士クラブ幹事長選任の件
平成21年度日本弁理士クラブ幹事長に清水善廣会員を選任する件につき、賛成多数により承認。
- (2) 平成21年度日本弁理士クラブ政策委員長選任の件
平成21年度日本弁理士クラブ政策委員長に岡部讓会員を選任する件につき、賛成多数により承認。
- (3) 平成21年度日本弁理士クラブ副幹事長、幹事、会計監事選任の件
平成21年度日本弁理士クラブ副幹事長、幹事、会計監事の選任を平成20年度幹事会および平成21年度幹事長に一任する件につき、賛成多数により承認。
- (4) 平成20年度会務、会計および会計監査各中間報告の承認を求める件
平成20年度会務、会計および会計監査各中間報告につき、賛成多数により承認。

以上



平成20年度会計報告

平成20年度会計担当副幹事長
中野寛也

平成21年度第1回日弁総会におきまして、平成20年度会計報告が承認されましたので、以下にご報告致します。

平成20年度は、会長選挙があり、協議・選対・連絡協議の支出が膨らみました。このため、補正予算を組み、平成20年度第2回日弁総会で承認を受けて会務を執行致しました。選挙関連の支出を除けば、ほぼ例年通りの執行状況となりました。

下記の収入・支出の差引は、円となり、次年度活動準備金 円と合計すると、平成21年度への繰越金は、円となりました。

(単位：円)
(補正予算／当初予算)

<収入の部>

前年度会計
からの繰越金
各クラブ分担金
研修委員会残金
利息

合 計

<支出の部>

例会・総会
幹事会
会報委員会
協議委員会
政策委員会
規約委員会
HP委員会
研修委員会
連絡協議会
相談役会・
常任相談役会

旅行会
旅行会ゴルフ 大会補助
新年会
ボウリング 大会補助
テニス大会補助
庶務
慶弔費
渉外・交通
幹事長渉外費
予備費
次年度活動準備費
合 計

以上



第31回 ボウリング大会報告

実行委員 中 尾 俊 輔

第31回日弁ボウリング大会は48名（女性6名）の参加者により平成20年12月16日（火）に田町ハイレーンにおいて開催されました。

上位6名のトータルピンで争う各派対抗の団体戦では、前回P A会に11連覇を阻止された春秋会がトータル2935ピンで、2位のP A会に248ピン差をつけて雪辱を果たしました。

一方、3ゲームトータルピンで争う個人戦では、林秀男会員（稲門）が562ピンの高スコアで2位の樋口和博会員（春秋）に15ピン差をつけて初優勝を飾りました。また、林会員は236ピンという高スコアでハイゲーム賞のトップを獲得するとともに、大波賞も獲得しました。

6名参加のレディース戦では、玉利房枝会員（春秋）が389ピンで2位の大山夏子会員（春秋）に28ピン差をつけて4連覇を果たしました。

なお、玉利会員と本間賢一会員（春秋）は、3ゲームともスコアが一致するという気の合ったところを見せ、それぞれ特別賞を獲得しました。

・団体戦

優勝	春秋会	2935ピン
2位	P A会	2687ピン
3位	無名会	2540ピン
4位	南甲弁理士クラブ	2487ピン
5位	稲門弁理士クラブ	2440ピン

・個人戦（3ゲーム投球完了者：48名）

優勝	林 秀男（稲門）	562ピン
2位	樋口 和博（春秋）	547ピン
3位	佐藤 辰彦（春秋）	525ピン
4位	小島 一真（春秋）	507ピン
5位	三上 結（P A）	485ピン
10位	村田 正樹（P A）	453ピン
15位	水本 義光（春秋）	436ピン
20位	橋本 清（春秋）	423ピン

25位	浅村 皓 (PA)	407ピン
30位	井上 正 (春秋)	392ピン
31位 (第31回大会)		
	玉利 房枝 (春秋)	389ピン
35位	川村 武 (南甲)	380ピン
40位	中村 仁 (南甲)	352ピン
45位	栞原 史生 (南甲)	300ピン
BB	今井 貴子 (南甲)	272ピン

・レディース戦 (参加者：6名)

優勝	玉利 房枝 (春秋)	389ピン
2位	大山 夏子 (春秋)	361ピン

・ハイゲーム

1位	林 秀男 (稲門)	236ピン
2位	樋口 和博 (春秋)	206ピン
3位	竹山 尚治 (無名)	192ピン

・大波、小波賞

大波賞	林 秀男 (稲門)	76ピン
小波賞	土生 真之 (南甲)	3ピン

・特別賞

	1	2	3
玉利 房枝 (春秋)	134	118	137
本間 賢一 (春秋)	134	118	137



平成20年度テニス大会 報告

平成20年度テニス大会担当副幹事長
中野 寛也

平成20年度も恒例の日本弁理士クラブ (日弁) テニス大会が、平成21年1月24日 (土曜日) に品川プリンスホテル高輪テニスセンターにて開催されました。

今年度は、南甲弁理士クラブの瀧野文雄先生に幹事を担当して頂き、PA会の平山洲光先生、春秋会の磯田志郎先生、無名会の土井健二先生、稲門弁理士クラブの岩田啓先生のご協力の下、大会を円滑に運営することができました。いつもながらに感謝、感謝です。

大会の要領は、各会派1チームの合計5チームによる総当たり戦であり、昨年度と同様です。但し、昨年度は、日弁60周年記念の冠大会ということで、日弁会計からの大会補助も増額されましたが、今年度は、それもなくなりましたので、賞品や懇親会の食事は、やや抑えめだったかもしれません。

実は、今年度のテニス大会は、年度末ぎりぎりの開催を避けようという趣旨で、日弁幹事会で開催時期の見直し論が出て、3月末に調整・検討の結果、一旦、10月開催に決まりかけました。しかし、この時点で高輪テニスセンターのコートが他団体の予約で埋まっていて10月開催は断念することとなりました。開催地の変更も検討してみましたが、長年の検討で高輪が良いという結論になっていることから、場所を高輪から移すのも、なかなか困難であり、開催時期を変更するには、1年以上も前からの検討が必要ということが判りました。そんな訳で、結局、今年度も、年度末の1月開催となりました。

<参加者 (敬称略)>

PA会 (5名) :

平山洲光、本田昭雄、西岡邦昭、田中勲、
後藤政喜

春秋会（5名）：

磯田志郎、沼形義彰、沼形泰枝、茂泉修司、
伏見俊介

南甲弁理士クラブ（5名）：

瀧野文雄、長谷部善太郎、早崎修、田村爾、
飯島健太郎

無名会（5名）：

土井健二、田中成志、小川英宣、朴暎哲、
竹本如洋

稲門弁理士クラブ（5名）：

岩田啓、中野寛也、林秀男、菊池保宏、窪田稚之

<試合結果>

順位	会派	勝ち点	賞品
1位	春秋会	11.5	テニスソックス
2位	南甲弁理士クラブ	9.0	グリップテープ
3位	PA会	7.5	リストバンド
4位	無名会	6.5	ガット用振動止め
5位	稲門弁理士クラブ	5.5	ガット用振動止め

以上

